

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立北スポーツセンター
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	スポーツセンターは、市民に体育、レクリエーションなど健康で文化的な各種行事を行う場所を提供するとともに、体育等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		77.2%
達成率		96.5%

利用状況（第1体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	99.6%	99.8%	-0.2%

利用状況（第2体育場）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	98.7%	97.9%	0.8%

利用状況（多目的1）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率	94.2%	89.6%	4.6%

利用状況（多目的2・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

利用状況（多目的3・会議室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			0.0%

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	23,979,000	25,012,820	0	
	計画	23,979,000	23,023,809		
利用料金収入	実績	7,725,390	7,434,730	-34,610	計画より利用者減のため
	計画	7,760,000	6,999,200		
その他収入 (自主事業収入)	実績	18,015,966	16,202,181	3,215,966	新規教室増及び教室数の増のため
	計画	14,800,000	15,282,300		
合計	実績	49,720,356	48,649,731	3,181,356	
	計画	46,539,000	45,305,309		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	15,848,352	17,922,688	-1,350,648	業務効率化により計画から減少
	計画	17,199,000	17,199,600		
物件費	実績	20,465,161	18,405,708	2,325,161	修繕の増及び光熱水費の増
	計画	18,140,000	17,753,456		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	13,065,675	12,248,633	1,865,675	教室数の増加に伴う講師料増
	計画	11,200,000	9,909,700		
合計	実績	49,379,188	48,577,029	2,840,188	
	計画	46,539,000	44,862,756		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度	96.5%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・物品購入は年間計画に基づき、必要最低数を購入。 ・本社一括仕入れによる備品単価の値下げ。 ・パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ・光熱水使用量の削減への取り組みとして、空調機のON・OFFの使用状況を管理表に記載し、使用時間と電気代の関連を確認、かつ風量・温度などを気温、気候に合わせてこまめに調整。 ・タイマーによる照明のON・OFFにとらわれず、状況（明るさ）に応じたON・OFFを実施。 ・消耗品等の在庫管理。（月別） ・共用部照明灯の間引き。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。
- ・利用者アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。
- ・従業員が直接話を聞きし、改善すべきところは早急に改善。
- ・直接いただいたご意見を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。
- ・利用者の多い時間帯に下足箱が不足する。
→1台(16人用の下足箱)を増設いたしました。

6 外部専門家意見

第1体育館、第2体育館及び多目的室の施設稼働率が高い水準を維持しており、評価できる。

高い施設稼働率でありながら利用満足度が目標値を達成しない点について、どのような箇所・サービスが満足度を引き下げている課題であるか等を分析のうえ、次年度は達成できるよう施設運営に反映してもらいたい。

自主事業収入は前年度から引き続き計画を上回っており、一定評価できる。

支出について、昨今の人件費や光熱水費が高騰しているため計画値を上回っているものの、黒字としている点が大きく評価できる。

ドッジボール協会と連携し、日本代表選手を呼んだイベントなど新たな取り組みには評価できるため、次年度以降も継続していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立下福島プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.0%
達成率		102.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		82.0%
達成率		102.5%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	99,062	101,924	-2,862
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	22,937	20,846	2,091
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	36,250	33,252	2,998
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	70,992,000	53,972,342	0	
	計画	70,992,000	46,383,600		
利用料金収入	実績	49,696,900	51,121,441	-6,303,100	5月～6月にかけて屋内プールの休館期間があったため
	計画	56,000,000	58,843,700		
その他収入 (自主事業収入)	実績	67,298,884	62,578,893	-7,301,116	5月～6月にかけて屋内プールの休館期間があったため
	計画	74,600,000	65,491,356		
合計	実績	187,987,784	167,672,676	-13,604,216	
	計画	201,592,000	170,718,656		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	99,156,590	84,524,219	9,833,590	最低賃金の引き上げに伴う影響
	計画	89,323,000	79,234,200		
物件費	実績	105,815,945	94,296,249	10,065,945	光熱水費単価高騰による影響
	計画	95,750,000	83,481,600		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	15,195,585	10,486,638	-1,323,415	5月～6月にかけて屋内プールの休館期間があったため
	計画	16,519,000	8,429,156		
合計	実績	220,168,120	189,307,106	18,576,120	
	計画	201,592,000	171,144,956		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	102.5%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	102.5%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
・物品購入時、使用頻度を確認し、適正購入を推進。 ・本社一括仕入れによる備品単価の値下げ。 ・パソコン使用による、連絡・情報共有により、ペーパーレス化。 ・時間天候別ON・OFFの徹底 ・タイマーによる照明のON・OFFにとらわれず、状況（明るさ）に応じたON・OFFを実施。	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	
社会的責任・市の施策との整合性	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・意見箱を設置して、その意見に対する回答を3日以内に掲示。
 - ・利用者アンケートを実施し、その意見を踏まえて施設運営に反映。
 - ・従業員が直接話を聞きし、改善すべきところは早急に改善。
 - ・直接いただいたご意見を全従業員の共通項目とし、施設運営に反映。
 - ・ギャラリーの館内表記に静かにするようにとあるが、お喋りをする利用者がいる。
- 誤解を与える表記であったため、大きな声での会話は控える様にとの表記へ変更しました。

6 外部専門家意見

5月から6月にかけて1か月程度の設備故障による休館があったため収入実績が計画額を下回っており、一方で支出額については、人件費や光熱水費の高騰により計画額に対して大幅に超過しており、大きな赤字となっている状況は適切とはいえない。民間事業者ならではのアイデアや工夫により取り組んでいただきたいが、市費縮減に係る取組も昨年と同様の記載となっており、どのように認識しているのか説明を求めたい。

利用者満足度については、昨年は目標値を下回っていたが今年度は目標値に到達できたことは評価できる。

新規に実施された事業が一定あることについては評価ができる。提供可能な事業の実施を模索すると同時に、利用者・潜在顧客のニーズを取り入れた事業の展開を検討いただきたい。それにより、新規顧客の獲得と事業収支を計画額に近づけるよう努められたい。

次年度においては、健全な施設運営に尽力していただきたい。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上	B	
施設の管理運営		
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

1 基本情報

施設名称	大阪市立淀川屋内プール
施設所管課・担当	経済戦略局 スポーツ部 スポーツ施設担当
条例上の設置目的	水泳等の場を提供することにより、市民の健康を増進するとともに、水泳等の普及振興に寄与することを目的とする。
業務の概要	地域住民にスポーツ・レクリエーションの場や気軽に健康づくりや体力づくりに利用できる場を提供することにより、スポーツの普及振興を図る。
成果指標	アンケート調査による利用者満足度数値
数値目標	利用者満足度80%以上
指定管理者名	大阪スポーツパートナーズ
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
評価対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日

2 管理運営の成果・実績（屋内プール）

成果指標	利用者数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		85.2%
達成率		106.5%

2 管理運営の成果・実績（トレーニング室）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		80%
年度実績		78.2%
達成率		97.8%

2 管理運営の成果・実績（アイススケート）

成果指標	利用者人数	利用者満足度
数値目標		
年度実績		
達成率		

利用状況（屋内プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	87,759	81,100	6,659
稼働率			

利用状況（屋外プール）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

利用状況（トレーニング室）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数	48,287	45,577	2,710
稼働率			

利用状況（アイススケート）

	当年度	前年度	前年度比
利用人数			
稼働率			

令和6年度 指定管理者年度評価シート

3 収支状況

収入		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
業務代行料	実績	73,976,000	69,307,000	0	
	計画	73,976,000	69,307,000		
利用料金収入	実績	42,674,804	41,069,918	2,139,372	プール・トレーニングジム共に利用者数が増加傾向にあります。
	計画	40,535,432	58,998,500		
その他収入 (自主事業収入)	実績	56,892,259	48,370,366	-11,860,621	スイミング・カルチャー教室は増加傾向にあるが自主事業全体の底上げが必要です。
	計画	68,752,880	62,781,400		
合計	実績	173,543,063	158,747,284	-9,721,249	
	計画	183,264,312	191,086,900		

支出		当年度	前年度	差異（実績－計画）	主な要因
人件費	実績	64,434,037	64,733,337	-3,716,427	一部の職員単価が計画より少なかったことや、業務効率化による適正配置によります。
	計画	68,150,464	61,981,440		
物件費	実績	95,995,882	97,420,294	-7,665,734	単価高騰や使用量増加による電気代・ガス代の増加したが、事業費等が減少したためです。
	計画	103,661,616	110,289,041		
その他事業費 (自主事業支出)	実績	9,907,469	9,371,818	-1,544,763	事業収入減少による経費減少です。
	計画	11,452,232	18,816,420		
合計	実績	170,337,388	171,525,449	-12,926,924	
	計画	183,264,312	191,086,901		

4 管理運営状況の評価（1次評価）

(1) 成果指標の達成

評価項目	達成率	評価	特記事項
利用者満足度（プール）	106.5%	B	
利用者満足度（トレーニング室）	97.8%	B	

(2) 市費の縮減

市費の縮減に係る取組状況	評価	特記事項
<ul style="list-style-type: none"> ・高額修繕の選定は、可能な限り2社以上から見積りを取得し依頼先を決定。 ・弊社全店の購買力を生かした消耗品の発注を実施。 ・消耗品等の購入価格を本社にて一括交渉することにより、コスト削減した物品の購入が可能となった。 ・消耗備品等の在庫管理を徹底して実施する事により無駄を省いた。 ・薬品購入の際、常時使用するものは一括購入しコストを削減。 ・光熱費削減の為、空調一括操作を行わず、個別で必要な箇所のみの運転を徹底。 ・光熱費削減の為、昼間の照明ONのエリアを限定した。 ・スタッフの担当エリアを拡大することで、効率的な人員配置を行い人件費削減に努めた。 ・集客率の低いスタジオレッスンに関しては、レッスンの改廃も実施。 	B	

(3) 管理運営の履行状況

評価項目	評価	特記事項
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況	B	
施設の有効利用	B	

令和6年度 指定管理者年度評価シート

社会的責任・市の施策との整合性	B	
-----------------	---	--

5 利用者ニーズ・満足度等

- ・ホームページお問合せフォームは、タイムリーにメールにて対応を実施。
- ・ご意見箱の設置および随時回答・対応。
- ・窓口や電話等のご意見対応についてスタッフ連絡ノートにて情報を共有し、均一化に努めた。
- ・利用者アンケートを実施し、ご意見に改善に向けて対応実施。
- ・シャワールームのカビなどの汚れ。
→スタッフによる定期的な清掃を実施し改善に努めました。
- ・更衣室の清掃が行き届いていないとのご意見
→スタッフによる巡回清掃を行い改善に努めました。
- ・空調機故障による館内の室温が高く暑いとのご意見
→故障中はスポットクーラーや扇風機の設置にて暑さの軽減対策を行い、空調機の修理を行いました。

6 外部専門家意見

収入について、計画額よりも実績が下回っているが、支出において、人員の適正配置に務めるなどにより経費を抑制し収支で黒字とした点については評価できる。

利用者人数が前年と比較し増加しているため、更なる増加に向けて検討していただきたい。

トレーニング室の利用者満足度が目標値を達成できていないため、次年度に向けて要因を分析し改善に努められたい。

自主事業の顧客獲得に向けた方策の工夫が見られる。今後、獲得した参加者や会員の維持・継続についても民間事業者のノウハウを発揮いただきたい。

施設の利用促進策として季節の掲示物などによる利用者目線での環境づくりなどにも積極的に取り組んでいる様子が伺えるため、引き続き新規顧客獲得に向けた民間事業者ならではの創意工夫などに期待する。

7 最終評価

評価項目	評価	所見
成果指標の達成	B	
市費の縮減	B	
管理運営の履行状況		
施設の設置目的の達成及びサービスの向上		
施設の管理運営	B	
事業計画の実施状況		
施設の有効利用		
社会的責任・市の施策との整合性		
総合評価	B	